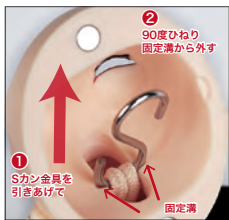
 ドール製品はレジン素材でできています。  
 壊れやすいので取扱いには十分にご注意ください。

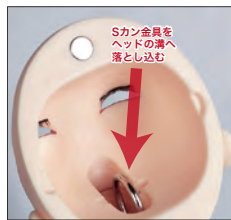


©2015 EXNOA LLC/Nitropius

**1 ヘッドパーツを取り外す** 必要なもの 太めの紐 または S カン用フック  メイクは摩擦で削れることがあります。ヘッドパーツを扱う際はご注意ください。



① Sカン金具を引き上げて  
 ヘッドの蓋を開け、①Sカン金具を引き上げて  
 ②90度ひねり、固定溝から外します。



② 90度ひねり、固定溝から外す  
 Sカン金具をヘッドの溝へ  
 押し込みます。



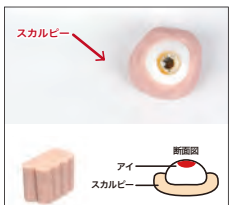
メイクに触れないように注意しながら、ヘッド  
 パーツを外します。



外したヘッドは顔を上に向けて安定し  
 た場所に置いてください。  
 下にタオル等やわらかい布などを敷い  
 ておくより安心です。

ヘッドの S カン金具を引き上げるには、かなりの力が必要です。けがや破損のないよう注意して行ってください。

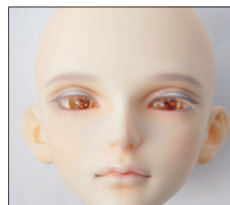
**2 ヘッドパーツにアイをはめ込む** 必要なもの スカルビー (アイ固定用粘土)



スカルビーをアイの2〜3倍量取り、手で揉ん  
 で柔らかくしてよく練ります。練ったものを細く  
 伸ばしてアイの周りに巻き付け、残りは丸く  
 平たく伸ばしてアイの後ろ側全面に付けます。



スカルビーをつけたアイをヘッドのアイホール  
 へ入れ、軽く押さえて仮固定します。



顔の正面から見て目線が合うように後ろから指  
 で押して調整します。



位置が決まったら、スカルビーを押し付けて固  
 定します。

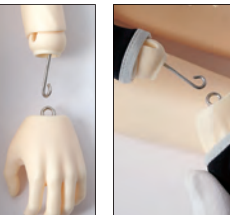
**3 手甲をつける (ハンドパーツの取り外しと取り付け)**



腕を持ってハンドパーツを引っ張り、S カン金  
 具が見えるまで引き出します。



そのままハンドパーツを 90度ひねり、手首のジョイントの中にある固  
 定溝へ S カン金具をはめ込んで固定し、ハンドパーツを外します。



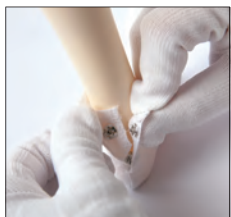
左右のハンドパーツと手首にそれぞれ手甲をつけたら、ハンドパーツを再び  
 S カン金具に取り付け、固定溝から外して元の状態に取り付けます。



**4 足袋・襦袢・着物を着せる -1**



足袋の後ろ側のスナップボタンを外し、足先か  
 ら履かせます。



後ろ側のスナップボタンをとめます。



襦袢 (濃紺の着物) を片腕ずつ通して着せます。



小袖 (白い着物) をその上から着せます。

**4 足袋・襦袢・着物を着せる -2**



内側用の帯 (薄グレー1色の細い方) を前から  
 腰にあてます。



ぐるりと後ろに回し、軽く締めます。



スナップボタンをとめ、帯を締めます。



着物の襟・腰まわりを整えます。

**5 袴を履かせる**



足元から袴を履かせていきます。



帯の下まで引き上げたら、前側の左右のベルト  
 を後ろに回します。



回したベルトのスナップボタンを帯の下でとめ  
 ます。



次に、後ろ側の左右のベルトを前に回し、同様  
 に帯の下でとめます。

**6 帯を締める**



外側用の帯 (2色で金具付き) を内側用の帯  
 の上から腰にあてます。



帯を後ろに回し、内側の帯の結び目を押さえる  
 ようにしてスナップボタンでとめます。



帯締めを、輪 (わ) の部分に内側にあるスナッ  
 プボタンでとめます。



帯の位置を整えます。

**4 足袋・襦袢・着物を着せる -1**

**7 足防具をつける**



足防具のファスナーを開け、つま先の開  
 きに足を通して下から履かせます。



後ろを手で押さえて合わせ、足袋を挟ま  
 ないようにファスナーを上げます。

**8 ヘッドパーツを取り付ける**



メイクに触れないよう注意しながらヘッ  
 ドパーツをボディに乗せます。



① Sカン金具を引き上げて  
 ② 90度ひねり、固定溝へ  
 はめ込む  
 S カン金具を引き上げて 90度ひねり、固  
 定溝へはめて固定します。



「刀剣乱舞 -ONLINE-」 鶴丸国永 キャストドール  
**衣装装着方法②**

**!** ドール製品はレジン素材でできています。  
 壊れやすいので取り扱いには十分にご注意ください。

**9 首飾りをつける**



首飾りのカニカン（留め具）を開けます。



首に回しつけて後ろでカニカンをとめます。

**10 ウィッグをかぶせる**



ウィッグをかぶせておでこのあたりを親指で押さえ、襟足の生地を持って広げるように下へ引き下げて被せます。



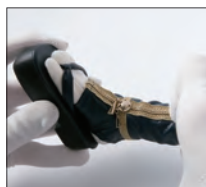
毛先や襟足を整えます。

**!** 髪を強くひっぱると抜けることがあります。  
 必ずウィッグの生地を持ってかぶせてください。

**11 下駄を履かせる**



下駄を前から履かせます。



鼻緒を押し込めようとして履かせます。

**12 甲冑を装着する**



本体をしっかりと支え、帯の金具の位置を確認します。



甲冑のホックを帯の金具に引っ掛けて装着します。

**13 羽織を着せる**



両腕を背中の方へ外らせ、羽織の袖を通していきます。  
 両袖を通して、袖先から中の着物・襦袢を引き出して見せます。



羽織を肩まで上げて着せたら、フードをふんわりと沿わせるように整えます。



**取り扱い説明書**

**対象年齢15歳以上**

※対象年齢未満の方は、  
 保護者の方とともに取り扱ってください。

「刀剣乱舞 -ONLINE-」  
**鶴丸国永 キャストドール**



©2015 EXNOA LLC/Nitroplus



DOLK「刀剣乱舞-ONLINE-」  
 ドール化した刀剣男士が、いざ出陣!

● **セット内容**

ドール本体（ヘッド+ボディ） … 1体 ※組み立て済み  
 ※フェイスメイク済み

衣装・装身具



● **ご用意いただくもの**

① **スカルピー（アイ固定用粘土）**



ヘッドパーツにアイを装着する際に必要となります。アイの3〜4倍の量を手の温度で温めるように揉み、柔らかくして使います。

② **太めの紐または S カン用フック**



ヘッドパーツの取り外し・取り付けの際に必要となります。ヘッドとボディを繋いでいる S カン金具を引く時に使います。

● **その他 あると良いもの**

**綿素材の手袋**

ヘッド・ボディの素材「レジン」は非常に柔らかく滑りやすいため、綿素材の手袋があると作業しやすいでしょう。落としたり爪でメイクをこすって割がしてしまうなどの事故も防ぐことができます。

**ドールスタンド**

大きなサイズのドールは自立させにくく、倒れると自重で破損する可能性があります。立たせる際は、平らで安定した場所で、ドールスタンドなど支えになるものを使用すると安心です。

**!** ドールは素材の特性上、経年により黄変（変色）する場合があります。長時間紫外線（日光 等）にあてると黄変が進む場合がありますのでご注意ください。



**ご注意**  
 (ご留意)

**お客様へ 必ずお読みください。**

- **小さな部品**があります。口の中に入れてください。窒息などの**危険**があります。
- **誤飲の危険**がありますので、**3歳未満のお子様には絶対に与えないで下さい。**
- **とがった部分の取り扱いにはご注意ください。**

**この商品に関するお問い合わせ**

**株式会社ボーダレス**  
**ドール事業部 DOLK**



お問合せ [kikaku@vodaless.net](mailto:kikaku@vodaless.net)  
 上記メールアドレスまたは下記カスタマーサポートまでお問合せください。

〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1丁目4-19 なんばスミソウビル6F  
 株式会社ボーダレス カスタマーサポート  
 TEL: 06-6616-9466  
 受付時間: 11:00 ~ 17:00 (土日祝・弊社休業日を除く)  
<https://dolk.jp/>